



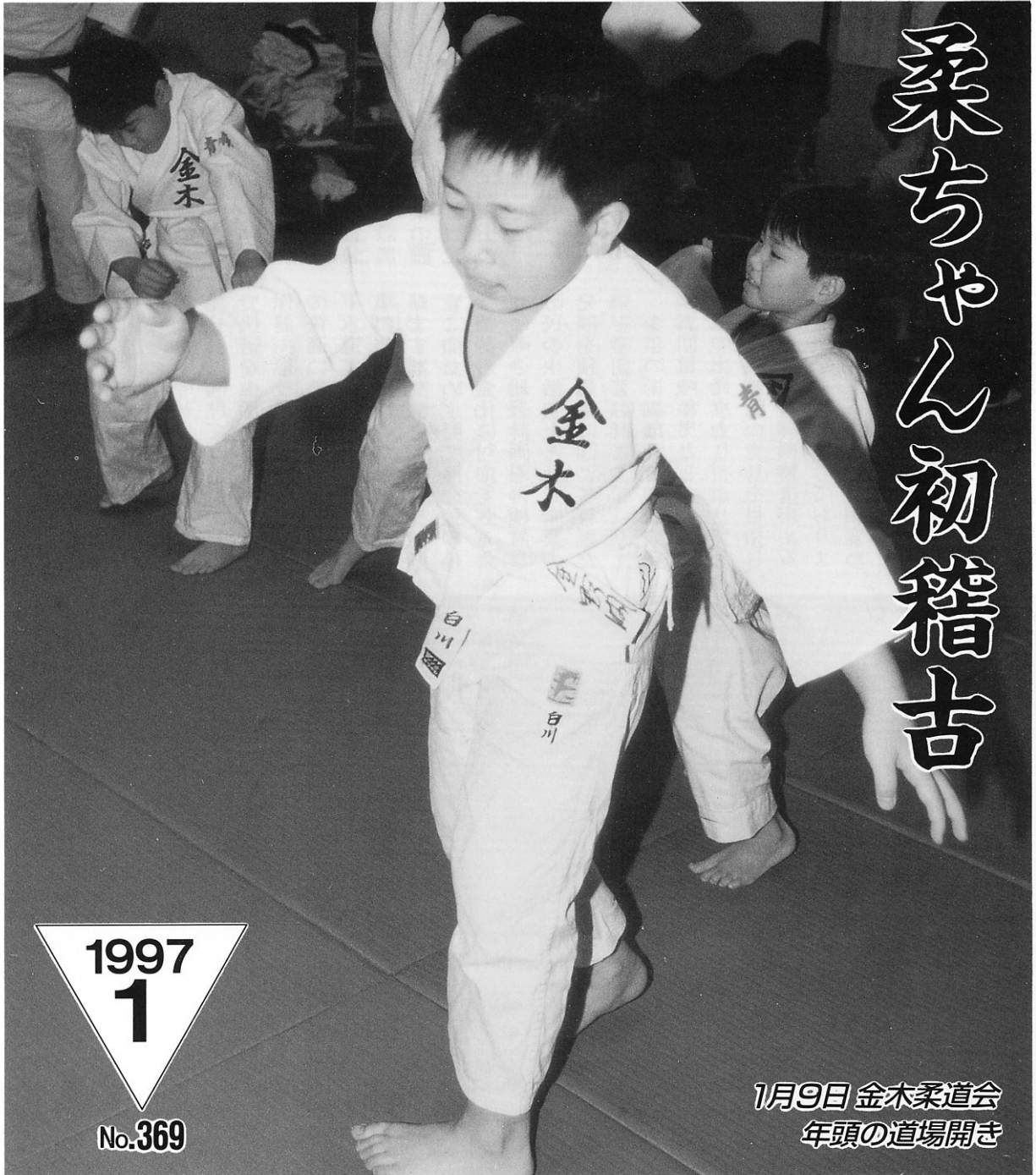
広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240



柔
ち
や
ん
初
稽
古

1997
1

No.369

1月9日 金木柔道会
年頭の道場開き

新年明けまして

おめでとーうございます

輝かしい新春を迎え謹んで
お喜びを申し上げます。

昨年中は、町民皆様の町行政に対する深い御理解と格別の御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、地方財政を取り巻く環境は厳しさを増すばかりでありますが、住民にもっとも身近な地域の総合的な経営主体としての地方公共団体の果たす役割は一層増大するものと

と考えられます。

金木町における地域経済の活性化のためには、町民の所得向上による購買力のアップと企業誘致による雇用の増大はもちろんでありますが、地元の商店街や事業所の体質強化、複合経営も含めた施設農業による通年稼働型農業の確立、斜陽館を拠点とした観光と連動した魅力ある商店街の振興、農林業と連携した地元

に密着した工業振興等の経営の安定化を図るため、農林業・商工業・観光を結びつけた総合的な振興策が必要であります。

また、今後予想される高齢化社会に向けて高齢者が健康で快適な生活ができるような保健、福祉の環境整備や安全で快適に暮らせるよう道路、下水道、ゴミ処理等の生活環境の整備についても必要であります。

このため、町では今後の社会情勢の変化に対応できるように町の総合計画を再検討し、町民の生活向上と地元産業の発展を積極的に図って行きたいと考えております。

今年の干支は丑であり、私は五回目の年男として新しい希望の出発点とし、より豊かな住み良い町づくりを目指し、町民皆様方の御期待にこたえるよう決意を新たにしておりますので、どうか本年も相変わらず御支援・御協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。新年のご挨拶いたします。



年頭にあたって
金木町長 田中勇治

収入役 鳴海義男
教育長 成田勝義



町議会を代表して 謹んで新春の御挨拶を申し上げます

新年明けましておめでとうございます。

明るい希望に満ちた新年を迎え、町議会を代表し町民の

皆様に心からお喜びを申し上げます。



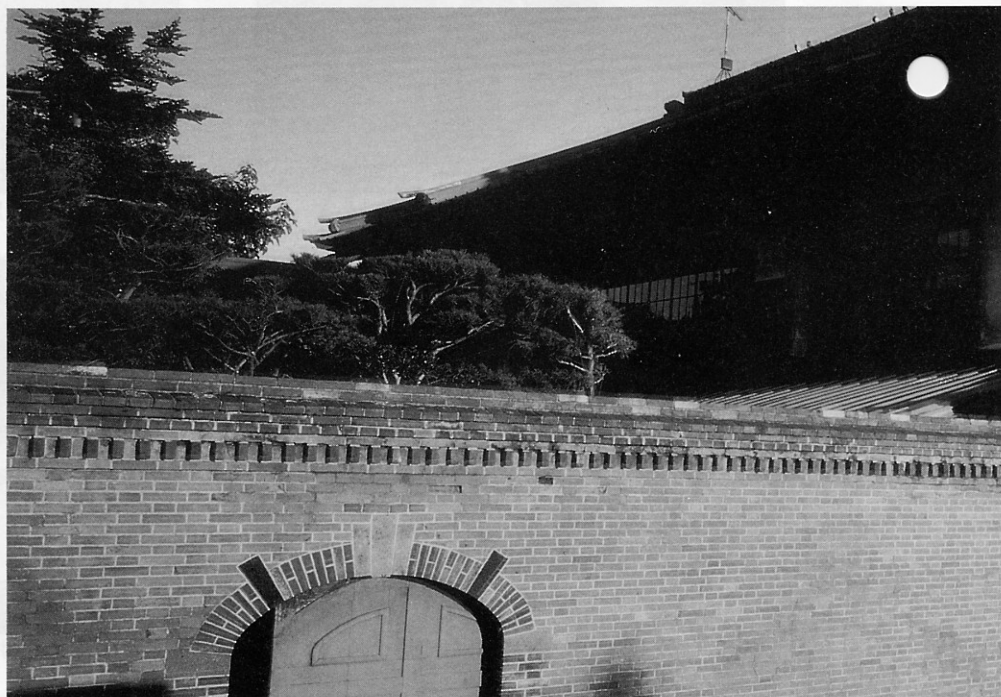
金木町議会議長
白川豊則

- | | | | | | | | |
|-------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 副議長 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 |
| 桑田茂 | 原田寛 | 中谷八 | 加藤磐 | 野宮穂 | 吉崎正光 | 伊藤清慈 | 沢田茂 |
| 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 |
| 小田桐喜吉 | 対馬兼正 | 古川哲雄 | 吉崎正光 | 伊藤清慈 | 沢田茂 | | |

昨年、当町の観光の拠点となる斜陽館の買収が決定し、九年度末の完成を目指し復元修復工事が着工しました。また、斜陽館の買収に伴う環境整備も計画されており、早期に完成させることも議会としての総意であります。

本年も町民の皆様の御意見を拝聴しながら、引き続き教育、福祉、生活関連施設等山積する諸問題を、厳しい財政事情を勘案しつつ慎重審議のうえ、議決機関として皆様方の負託に応え、町発展に尽力する決意でありますので、町民の皆様のご協力、ご理解を賜りたいと思う次第であります。

最後に、皆様方のご健勝と御多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



活発に動きだす



朝は、ポンプ車の手入れから始まる
9:00 (金木消防署)



年末年始金木町連合大売出し
抽選会場10:00 (金木町商工会)



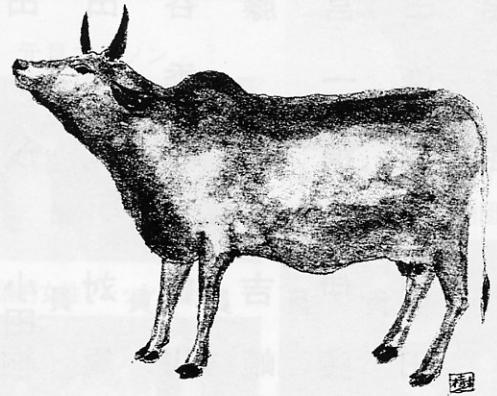
134名が大厄を払った
11:00 (合同厄払いにて)



患者さんに食事介助
12:00 (尾野病院)

今日の一日がはじまる

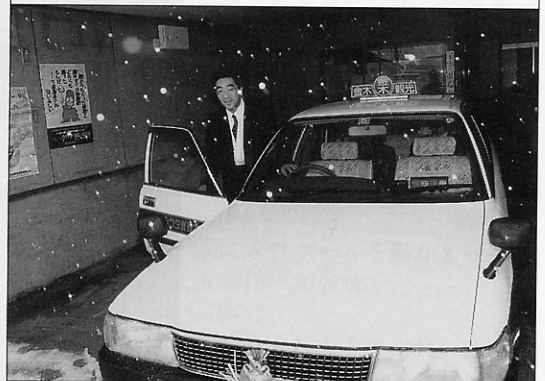
金木町の1日



今年は丑年。丑は、十二支の二番目、偶てい目反すう類ウシ科の動物です。1月4日、金木町で頑張る皆さんの1日を追いかけてみました。



味噌と糎を混ぜ合わせる
7:00 (角田糎屋)



安全運転でお客さんを運ぶ
8:00 (金木観光タクシー)

そろそろ一日が更ける



切符にハサミを入れ声を掛ける
17:00 (津軽鉄道(株)金木駅)



パッチワークの指導をする
18:00 (BUPI 倶楽部)



私たちの生活を常に守ってくれる
19:00 (川倉駐在所)



ほっと一息いかがですか
20:00 (スナック あき子)

仕事も遊びも一生懸命



年賀状の仕分けに精を出す職員
13:00 (金木郵便局)



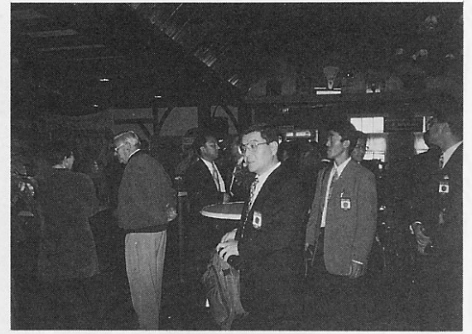
ままごとをして遊ぶ児童
14:00 (第2 保育所)



ソリ遊びを楽しむ
15:00 (嘉瀬スキー場)



寒い冬も給油に励む
16:00 (其田石油)



欧州の 農業・福祉・環境と 歴史を訪ねて②

— 報告者 —
役場企画室 今 義 律

第二回目は、オランダ・リヒテンフォールト 市の高齢者組織団体の活動と、老人ホーム訪問 について報告します。

一、はじめに
福祉の先進国であるオランダの福祉行政を視察し、我国でも急激に進行しつつある高齢化社会がもたらす諸問題解決の糸口となることを期待して研修してきました。

オランダの福祉について
オランダ人に、あなたの国はどういう国かと尋ねれば、「人間がどんな人間も人間らしい生活ができる国」と答える。お国柄なのかオランダ人

は体の弱い人には寛容で、障害者用の住宅建設や障害者が生活できる環境づくりを進め、健康者と同じ権利を保障しています。

生活保証制度も二十五年も前に確立していますが、最近では、偽装離婚をし、奥さんの子供が生活保護を受け、夜になると夫が帰ってきて普通の生活をするなど、生活保障制度の悪用が目立っているそうです。

年金制度については、国民の全てが定年後年々受給資格を有しており、六十五歳以上から年金を受給できる。年金の掛金は、所得額の何%と決まっていますが、支給額については一律となっています。また国の老人ホームについては、入居の条件として個人財産は、全て国に没収されます。

オランダには、各州、市、町ごとに別々な老人組織があり、それぞれの住民が地域に

あった形態で活動していて、それを民・官が一体となって支援しています。

二、リヒテンフォールト市の高齢者団体

市の人口は一万八千人で、五十歳以上の人口は、四千七百八十人で総人口の約二十六%となっています。

同市の高齢者団体は「KBO」という組織に属し、最初は三百名位の会員で、年一回程度の旅行、クリスマスなどの催し、トランプ遊びなどが主な活動だったそうです。現会長であるクラボ・フォルク氏が「自分たちが本当にやりたいものは何か、高齢者よ立ち上がろう」とパンフレットやアンケートを行い、語学、健康、ダンスコースといった文化教育的なものから、実生活に結びつく緊急連絡システムや食事サービスといった具体的な活動方針を提唱し、参加を呼び掛けたところ七百人位に会員が増え、これまでは八十歳以上が多数を占めていたが新会員は六十歳台の人が多く占めたそうです。そこで今度は、

具体的な行動に移すため組織を

住宅・健康・社会経済・教育・社会文化の五つに区分し、会員一人ひとりが各々のグループに所属し、従来の職業経験を生かし、協力しあう形が出来上がってきました。(活動の例としては、看護婦をやっていた人は、健康グループに所属し、病気の介護をしながら、健康な人に介護方法の指導を行なう)これらは全てボランティアであり、自分たちが自分たちでお互いの生活を支え合う活動をしているため同調する若い人たちも協力するために集ってきたそうです。

最近では、会員も千百人を超し、活動の分野も三十に増え、協力する市民ボランティアも八十四人になりました。

また組合では、年一回全会

員を対象にアンケートを実施し、組合に対する意見、老人のための市に対する各種施策の要望を吸い上げ、これら数多く実施。特に一九九一年には、組合が市に対して施策を要望したところ、95%が採択・実施された。

こうした組織の活動を通じて「老人は社会の一員となり